

## 施設規模は「10,000㎡」程度とします

- ・海洋に関連する様々な活動・機能を呼び込むなど、地区全体での一体的な空間づくりを目指します。



## 民間活力を活用した手法で建設します

- ・施設や地域にもたらす効果が最大になると共に良質で持続的な運営が可能になるよう、**PFI手法のBTO方式**により実施します。

PFI手法、BTO方式とは何ですか？

**PFI手法**とは・・・  
公共施設の設計・建設や維持管理・運営を、民間の資金やノウハウを使って効率的に行う手法のことです。  
**BTO方式**とは・・・  
PFI手法のうち施設建設後に市に所有権を移して、民間が維持管理運営を行う方式のことです。

なぜ民間活力を活用するのですか？

民間事業者のノウハウを活かすことで、行政よりも効率的な運営ができるというメリットがあります。当該施設については、事業継続性を確保することを目指しています。

民間公募していきます！

事業主体

事業契約

静岡市

三者の多面的な連携

JAMSTEC

東海大学

事業主体に期待すること

- 1 事業者の創意工夫によって、よりよい形で計画を実現できること
- 2 施設内外での多様な収入により、事業性を確保しながら、海洋研究・教育との連携等の公益性を確保すること
- 3 事業者のノウハウが発揮しやすい体制を構築すること

- ・学校教育に活用してもらえる場を提供
- ・研究成果を魅力向上の資産として活用
- ・MICEの誘致を促進

今後事業性を考慮しながら、施設詳細を検討し事業費等の公募条件を決定します。それを基に2019年度に事業者公募を実施する予定です。

# 静岡市海洋文化拠点施設基本計画（案）へ あなたのご意見をお寄せください

【期間：平成30年12月22日（土）～平成31年1月22日（火）】

## イメージ案



## 意見募集用紙はこちら

静岡市海洋文化拠点施設基本計画（案）の本編と概要版が閲覧できます。

- (1) 海洋文化都市推進本部（清水庁舎5階）
- (2) 各区役所の市政情報コーナー  
（清水区：清水庁舎4階、葵区：静岡庁舎新館1階、駿河区：駿河区役所3階）
- (3) 各生涯学習センター及び各生涯学習交流館
- (4) 静岡市ホームページ（[http://www.city.shizuoka.jp/169\\_000037.html](http://www.city.shizuoka.jp/169_000037.html)）  
※右のQRコードからホームページにリンクされます。



## ご意見の提出方法

期間内に、意見応募用紙を次のいずれかの方法でご提出ください。

|          |   |
|----------|---|
| 1 郵送     | 〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号<br>海洋文化都市推進本部 あて         |
| 2 ファクシミリ | FAX番号：054-353-1022                              |
| 3 持参     | 清水庁舎：海洋文化都市推進本部（清水庁舎5階）<br>静岡庁舎：葵区地域総務課（静岡庁舎1階） |
| 4 電子申請   | 市ホームページにある応募専用フォームでご提出ください。                     |

お問い合わせ先

静岡市海洋文化都市推進本部（電話 054-354-2343 FAX 054-353-1022）



ここでは、展示イメージ（案）を掲載しています。皆さんの様々なご意見をお聞かせください。

## 駿河湾や富士山、南アルプスといった、高低差5,000m以上の環境を捉えた【清水でしか実現できない】『海洋・地球に関する総合ミュージアム』を目指します。

ストーリーを持った体験により「海洋」と「地球」をつなぎます

### ■ 展示展開のイメージ



駿河湾の豊かさを支える生態系を生み出す水・生物の繋がりと、その背景にある地質・植生などの様子を比較しながら体験



「浅い海」と人間活動との深い関わりを、大型水槽の展示や「飼育・養殖・繁殖研究」の展示でわかりやすく紹介



深海の世界をイメージした演出空間の中で未知の海洋の不思議や、未来への可能性を訴求



駿河湾を中心とした最先端の海洋調査の内容をリアルタイムデータも含めて多彩な展示メディアで紹介



駿河湾や深海をモチーフにしたワクワクの体験型展示空間で親子で楽しく海の不思議を探求

「駿河湾」と「富士山」「南アルプス」の関係から「海洋」と「地球」へ展開していきます

### ■ 施設のテーマ

- 市民に身近な「駿河湾」の魅力  
世界的に見ても特色のある「駿河湾」の奥深さを理解してもらう。
- すべての人々に共通な「地球」へのひろがり  
駿河湾と富士山や南アルプスといった、高低差5,000m以上の環境を一体のフィールドとして捉え、この施設でしか展開出来ないテーマを扱う。
- 海洋にかかわる多様な人・情報のつながり  
研究機関等と連携を図り、最先端の情報収集・発信を行う。また、幅広い人たちが、海との関わりを学べる展示や体験プログラムを展開する。

「国際海洋文化都市・清水」の実現に向けて核となる施設です

### ■ 施設が創る4つの大きな効果



### 清水ならではの資源を展示に反映



駿河湾と富士山



ちきゅう一般公開



SDGs

清水ならではの特色（駿河湾、富士山、海洋研究機関、東海大学等）を活かし、地球・海洋科学を土台に、海との関わりを広く学べる場所